



令和5年度末を迎えて

学校教育目標「夢を拓く」のもと、1年間、教育活動を進めてきました。それぞれの生徒が、自分の良さや可能性に出会い、新年度に向けての活力につなげていけるものと期待しています。

伊豆の国市の教育大綱では、

- 夢と志を持ち、自分の可能性に挑戦できる教育
- 多様性が尊重され、思いやりあふれる社会の構築への貢献
- ふるさとを愛する人の育成



の3つの柱が謳（うた）われています。挑戦する、思いやる、愛する、などのキーワードは、現在注目されている「非認知能力」と言われるもので、数値で測定（評価）できる「認知能力」と対照的に使われることが多い概念です。学校が、知識や技能、表現力や論理的な思考力などを育成するのは、非認知能力を発揮する上で大切な要素となるから、と説明をすることもできます。

変化が激しく予測困難な時代をたくましく生き抜くために、非認知能力の育成は必要不可欠とされています。そのために、集い学ぶ、関わり体験する、といった現実世界での直接的な活動が意味を持ちます。地域での体験的な学習や地域の方々との関わりは、非認知能力を伸ばす絶好の機会です。また、地域の方々が中学生を共感的に見守ってくださるきっかけ作りにもなります。地域学習や福祉学習、防災、職業・進路学習など、この1年、多くの機会を提供していただきました。

さて、私たちの自慢の3年生が大仁中学校を巣立ちます。卒業生の姿は学校を映し出す鏡です。この生徒たちは、学校生活や地域の皆様との関わりの中で様々な能力を身につけました。もちろん、教育大綱に謳われているような姿の完成にはまだ届きません。が、それに向かって歩んでいる途上であることは間違いないと思います。新たな世界で新しい価値観に触れ、引き続き自身の夢と向き合い、たくましく成長していくことを切に願います。

地域の皆様には、これからも、高校生となった生徒たちへのご支援をお願いします。お子様の卒業に伴い、大仁中学校とは縁遠くなってしまう保護者の皆様にも引き続き温かな見守りをお願いします。

在校生の保護者の皆様には、「進級」という言葉が重く感じられることと思います。中学校時代はわずか3年間ですが、お子様の成長はめまぐるしく、また、進路の悩みも尽きないと思います。次年度も皆様と想いを共にしながら生徒の成長に寄り添っていきたくと思います。

教職員一同、地域、保護者の皆様の1年間のご支援、ご協力に感謝しつつ、令和5年度の締めくくりを迎えたいと思います。ありがとうございました。（文責：校長）

3年生に伝えたい!

ありがとう



大好きな3年生とまだ一緒にいたい!

…ということで、「卒業させない隊」登場!

委員会や縦割り活動でのかかわりや部活動等において、いつも1～2年生のあこがれの存在だった3年生に、「ありがとう」の気持ちを込めて、「感謝会」を行いました。楽しいオープニング、縦割りグループでのクイズ（ネプオーク）、そして、さまざまな思いがあふれた合唱…。あたたかい、すばらしい会になりました。3年生は、いよいよ卒業です。一人一人が、それぞれの夢や目標に向かって、新たな一歩を踏み出せますように。在校生と職員一同、これからもずっと応援していきたいと思えます。



「ネプオーク」というクイズ大会を実施。1～3年生が混ざったグループで大仁中にまつわる問題に挑戦。みんなけっこう真剣に悩んでいました。



優勝グループは、なんと全問正解!

「真の大学生」認定です。



校長先生も巻き込んだ

楽しい会の進行でした。



1～2年生による大合唱「旅立ちの時」。体育館いっぱいには響き渡りました。

そして、3年生の「3月9日」。やさしい歌声が心にしみました。



新しい世界へ、大きくはばたいしてほしいと思います。「がんばれ! 3年生!」



★1年間ありがとうございました

保護者、地域の皆様には、本年度も学校教育活動へのご理解ご協力をいただき、本当にありがとうございました。来年度も引き続き、あたたかいご支援をお願いいたします。